

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本遺産を活かすための地域住民への魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	木曾地域文化遺産活性化協議会 事務局：木曾広域連合地域振興課 TEL：0264-23-1050
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり (3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,640,650 円 (うち支援金：2,912,000 円)

事業内容

日本遺産の魅力発信アイテムとして、子ども達が理解しやすい紹介冊子データを作成し、エリア内の小・中学校及び2高校、林大、技専校、看護専門学校へ配布した(小・中学校の授業等で活用されているタブレットで閲覧できるようにデータで配布し、見本として1部印刷物を配布した)。

各地域において「日本遺産魅力伝える出前講座」を実施し、11箇所193名に地域の魅力を伝えた。各小・中学校には、今後、地域学習など授業等で活用してもらうよう依頼した。



【木祖中学校での出前講座】

【目標・ねらい】

- ① 日本遺産木曾路の認知度向上
- ② 地域を知る機会の増加
- ③ 郷土愛の醸成

事業効果

- ①日本遺産木曾路の認知度の向上を狙っていたが、中学生を対象としたアンケート調査では、日本遺産木曾路を「知っていた」という回答が、対前年比10.4%増と、目標としていた50%増を下回る結果となった。
- ②中学校や地域における出前講座については、11箇所193名の方に実施することができ、目標としていた対前年比50%増を上回る結果となった。
- ②高校、大学校、技術専門校、看護専門学校などと幅広く冊子データを提供したところ、冊子データを活用したい旨の連絡が来るなど、一定の効果があった。

※自己評価【B】

【理由】
中学生へのアンケート調査では、目標に達していなかったが、紹介冊子を作成したことで、今後、地域を知る機会が増加し、郷土愛の醸成に繋がると考えられる。

今後の取り組み

小・中学校、高校、大学校、技術専門校、看護専門学校、公民館等に幅広く冊子データを提供していることから、今後、出前講座により地域を知る機会の増加や郷土愛の醸成に繋がると見込んでいる。(令和4年度において、紹介冊子を使った出前講座の希望があり実施した事例あり。)木曾に新たに転入される方や木曾に興味を持っている方にも、地域の魅力を紹介できる冊子ができたことから、観光面だけではなく、移住施策にも活用できると考えており、積極的に活用したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある